

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2023年7月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2023年 7月 1日発行 通巻363号

待ちに待った夏山シーズン到来！

安全第一で綿密な計画を…

7月号目次

・ 目 次	2
・ 6月理事会報告	3
・ 登山講習報告（教育遭難対策委員会）	7
・ ウィークデー山行下見報告（ハイキング委員会）	11
・ 全国組織担当者会議参加報告（組織委員会）	13
・ 俳句三昧ハイク報告（岳人あびこ）	15
・ 全国自然保護担当者会議参加報告（自然保護委員会）	18
・ 海外登山参加者募集（海外委員会）	21
・ ちばニュース編集に携わって（機関紙委員会）	22
・ オンライン講座開催案内	23
・ 7月・8月予定表	24

＜閑話休題＞ Zoom との劇的な出会い p.22

個人情報があるので取り扱いには留意して下さい。

『山行報告』や『集会報告』などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りをお願いします。

ワード、A4、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm
写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『表紙用写真』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 **20 日頃**を目処にメールでお送り願います。

＜送付先＞ 機関誌委員会 廣木國昭委員長 danphiro@jcom.zaq.ne.jp
委員：安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com

＜表紙写真説明＞

6月4日（日）に、『教育遭難対策委員会』で企画した『登山講習』を実施した際の『竈岩山』山頂での集合写真です。

下山途中に「講師が滑落」という事故が発生したようです。訓練で練習した直後だけに、「滑落者をザイルで引き上げる…」という実践訓練（？）もできたようです。幸い、滑落者に怪我が無かったことを聞きホッとしました。

危険は何処に潜んでいるか分かりません。常日頃から細心の注意を払いながら山歩きを楽しんでいただきたい…と思います。

また、この講習会で学んだことを何度も繰り返して身に付け、他の会員に教えることで更に自分のモノになります。王道はありません。繰り返しの練習あるのみです。

講師を担当していただきました教育遭難対策委員会の委員に感謝します。（編集子）

作成者：船橋勤労者山の会 酒井 荘多

日 時 2023 年 6 月 15 日 (木)

場 所 オンライン会議 19:00~20:20

参加者一覧 (2023 年度) 文字青色：新規理事

県連理事		×	松宮 (市川)	○	野田 (かがりび)	×	深草 (あびこ) (代) 高橋
○	藺田 (ちば)	○	西岡 (ちば)	○	五木田 (こまくさ)	○	羽鳥 (東葛)
○	酒井 (船橋)	○	田中 (ふわく)	○	今井 (茂原)	×	渡邊 (松戸)
○	鈴木 (まつど遠足)	○	小林 (山翠会)	X	(仮) 豊田 (らんたん)	○	戸石 (民医連)
○	荒井 (岳樺)						
県連役員		○	広木 (会長)	-	野田 (理事長)	○	鶴田 (副理事長)
○	菅井 (自然保護)	○	伊東 (教遭)	○	安彦 (海外)		
全国連役員		×	石川 (副理事長)	×	山本 (理事)		

○：出席、×：欠席 理事と役員兼務の場合は理事の方に記載

議 事

1. 理事長挨拶 (野田)

- ・梅雨のシーズンとなりました。
天気の状態を見て無理をせずに登山を楽しみましょう。

2. 役員会報告 (広木会長)

- ・夏山シーズンを迎え事故のないよう山行管理をしっかりとやりましょう。

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会 (伊東)

- ・JWAF Journal 5月号に、
「山登山事故防止の取り組みについて、緊急アピール！」が掲載されています。
- ・下山時の転倒事故が増加しています。
- ・登攀(室内ジムを含む)事故が急増しています。
- ・現在(4月20日)まで3件3名の死亡事故が発生しています。
- ・この数年、重大事故の多くが「認知のゆがみ(自身の登山力量を過信する)」
による要因で発生しています。
また、今年は例年に比べ気温の上昇が早く、マダニによる被害が多発しています。
安全第一の行動で登山を楽しみましょう。

① 事故報告

会 名： 千葉こまくさHC 日時： 5月25日 15時頃

事故者： 80代男性

場 所： 新潟県角田山 灯台コース パーティ： 4名

状 況： 下りで、丸木の木段に躓き転倒、救助隊要請にてヘリコプターで
吊り上げられ、新潟大学医歯学総合病院救命センターに運ばれる。

傷 病： 鼻骨骨折、顔面挫創 など

事故一報： 労山基金に提出した資料を提出してください

② クライミング講習

②-1. 5/20 一回目 開催 10時～15時 場所： ヨシキ

- ・参加者： 講師 5名＋伊東、西岡、野田理事長、受講生 5会より 8名
- ・内容： 装備の説明、ビレイのやり方

②-2. 6/3 グリーンアロー海浜幕張にて講師の事前訓練

- ・教え方のすり合わせを行った。

②-3. 6/17 二回目開催予定

③ 登山講習実施

- ・日 時： 6/4 9時40分～16時40分
- ・場 所： 茨城県常陸大宮市 籠岩山（かごいわさん）
- ・参加者： 教遭委員 4名、5会より 7名
- ・実 技： 県連 7点セットを使用した危険地帯の通過に必要なスキル習得
- ・ヒヤリハット： 下山途中で、教遭委員が、岩が張り出した狭い登山道の端
の土の部分に足を置いたところ、土が崩壊し 10m 滑落した。
ロープで引き上げ、無傷を確認。

2) 自然保護委員会（菅井）

- ・ 5月21日（日）磯根海岸波打ちぎわクリーンハイク実施
4会 12人参加 ゴミの量 75 kg
今後参加者を増やすことを考えたい。
- ・ 2023 年全国自然保護担当者会議 6月17日（土）～18日（日）
場所： 埼玉県長瀬荘（民宿）
参加者： 菅井委員長、山本(久)委員 ZOOM 参加可能

3) ハイキング委員会（田中）

- ・ 6月13日（火）ウィークデー山行「JR 浪花⇒JR 御宿」 天候不良のため中止
今後の予定： 秋に実施を検討中

4) 組織委員会（野田）

- ① 5月30日オンライン会議 今年度の活動内容協議
本年度後期に行う各会現状調査の準備を行う。
理事以外の委員を増やしたいが… 各会より推薦してください。

②6月10日～11日 全国組織担当者会議参加（福岡）

- ・各地方連盟の現状、問題など意見を聞くことができ有意義な会議でした。
 - ・地方連盟と関東・大阪地区などでは規模・運営に違いがあり、一律に評価し、まとめることはできない。
 - ・労山の存在意義について、各地方連盟より問題提起が行われた。
- しかし、精神論的な話もあり現実的ではないと感じた。

5) 女性委員会（広木）

- ・ワンコイン講習会

スロージョギング講習会の会場を「船橋市中央公民館」での実施を委員会で検討して行く。委員会の日程を調整中。石田先生と協議中 10月～11月末頃

6) 海外委員会（安彦）

ネパールトレッキング参加者募集案内を『ちばニュース5月号と6月号』に掲載し、参加者を募集中です。正式申込者は次の通りです（6月15日時点）。

① 11日間コース：2名（他に、問い合わせが1名より届いています。）

② 20日間コース：6名（他に、問い合わせが3名より届いています。）

問合せの人の多くは、6月22日（木）のオンライン講座受講後に決める予定。

*体力温存のために『馬』の利用も可能（自己負担：17,000～20,000円/人・日）。

7) 機関紙委員会（広木）

- ・委員会の構成は、役員2名、担当理事1名、会選出委員1名です・
- 会選出委員の選出をお願いしたい。
- 「ちばニュース」に関する意見などを募集します。

4. 役員会からの連絡（野田）

1) 「君津ケルン山の会」労山脱退対応（連盟費未納関連）

全国連より「連盟費の免除は不可」の連絡あり。引続き君津ケルンと協議を行う。

2) 県内山岳3団体の活動

「11月23日（木）勤労感謝の日」に、親睦を目的とした合同ハイキング予定。

場所など詳細は今後に決める。各会からの参加をお願いします。

3) 関東ブロック役員交流会 9月2日（土）開催

テーマ：会員拡大、組織強化

7月にアンケートを行いますので協力をお願いします。

4) 季刊「登山時報」 各会1部冊子の送付先の確認 野田確認

5. 全国連からの情報展開（野田）

1) 2023年全国自然保護担当者会議

日 程：6月17日（土）～18日（日）

場 所：埼玉県長瀬荘（民宿）

参加者：菅井委員長、山本(久)委員

2) 第4回救助技術交流集会

日 程： 7月8日（土）～9日（日）

場 所： 北海道小樽市 おたる自然の村 おこばち山荘

県連 不参加

3) 全国ハイキングリーダー学校

日 程： 9月30日（土）～11日（日）

場 所： 奈良県法蓮佐保山 奈良ユースホステル

県連 不参加

4) 全国基金担当者、会員向け オンライン説明会（全国連 HP 参照）

担当者向け 6月28日（水）19:00～20:30 締切 6/18

実務（登録や精算、事故時の手続き）のポイントと注意点、
基金の概要、他保険との比較など

会員向け 7月5日（水）19:00～20:30 締切 7/3

交付内容、交付申請の注意点、など

6. 各会理事からの活動状況報告

会活動状況報告；

- ・ふわくハイキングサークル（田中）：会員高齢化で平均75～76歳ほどになっており、長く歩けない人もでてきたが、北関東の山などに行っている。
- ・茂原道標山の会（今井）：3名の入会があった。月2回の山行を実施している。春に岩トレ3回実施。5/21岩トレの際にクリーンハイクを兼ねてゴミ拾いした。

7. オンライン講座（安彦）

『ちばニュース6月号』に掲載した日程を変更します。

- ① 第1回 6月22日（木）海外登山① 講師：中山岳史氏 9会18人
- ② 第2回 7月27日（木）海外登山② （㈱ワンダーズアドベンチャー 代表）
- ③ 第3回 8月24日（木）ココヘリ 講師：大峰菜奈子氏（AUTHENTIC JAPAN ㈱）
- ④ 第4回 9月28日（木）労山基金 講師：鶴田秀雄氏（ちば山の会）

<注>

*①と②は、講師が撮影したネパールの写真を画面共有しながら『エベレスト街道トレッキング』などについて説明していただきます。トレッキング参加者は参加願いたい。高所登山での注意点などについても②で説明していただきます。

*④は、講師の都合で中止となりました。（編集子追記）

8. その他協議・連絡事項

1) 7月理事会

20日（木）に実施。オンライン、対面方式どちらで行うかは後日連絡します。

2) 理事会での協議事項があれば、事前に役員会までメールで連絡をお願いします。

以上

2023 登山講習の報告

千葉県連教育遭難対策委員会 伊東春正（かがりび山の会）

6月4日、茨城県常陸大宮市の竈岩山（かごいわさん）にて登山講習を行いました。今回の講習目的は、山行リーダークラスの会員を対象に、7点セット（補助ロープ、スリング長1、短2、カラビナ2、環付カラビナ1）を使用して岩稜地帯の通過に必要なスキル習得です。

山行リーダークラスが対象ですので、「確保のための支点づくり」、「確保方法」、「トラバースのためのロープ設置」が中心でした。

参加者は、下記6会で計11名でした（教遭委員4名を含む）。

つつじヶ丘駐車場から出発し、途中の釜沢越で次の練習をしました。

- ・トラバースのためのロープ設置
- ・ロワーダウンのための支点づくりと確保
- ・ロープ回収のためのダブルロープによる懸垂下降

竈岩山を過ぎた各難所で、訓練内容を実地で行いました。各難所では10mの補助ロープでは短くて対応できなかったため、今後7点セットの「10mの補助ロープ」は再考すべし…と感じました。

訓練後の下山途中、教遭委員が、岩が張り出した狭い登山道の端の土の部分に足を置いたところ、土が崩壊し10m滑落、ロープで引き上げる…というアクシデントがありました。まさに今日訓練したトラバースのためのロープ設置を行えば防げた事故ですが、現実には危険箇所ごとに毎回ロープを出すようなことはしませんので、個人の慎重な行動が求められます。

実施後のアンケートでは、次の意見などが寄せられました。次回の参考にします。

- ・今回の研修は人数が少なく、講師に質問が出来て良かったです。
- ・実際の登山で補助ロープを出す機会は稀であるため、年1回程度は実践訓練が必要である。
- ・沢や雪山の技術講習があると良いです。
- ・山での訓練の前に、机上訓練も必要かと思う。
- ・当会へのフィードバックに取り組みたいと思います。

＊参加会：船橋勤労者山の会、かがりび山の会、岳人あびこ、松戸山の会、東葛山の会、ちば山の会



登山講習会参加報告

岳人あびこ 土田義二・細谷秀次

6月4日（日）に実施された県連主催登山講習会に参加いたしましたので、下記のとおりご報告いたします。

日時： 2023年6月4日（日）9時～16時30分

場所： 竈岩山および周辺登山道

講習内容： 1. トラバースの為のロープ設置

2. ロワードアウンの為の支点作成と確保

3. ロープ回収の為のダブルロープによる懸垂下降

4. ラビット・ノットを使用した怪我人の搬送（時間切れで実施できず）

※全てのイラストは講習会資料より引用しました。

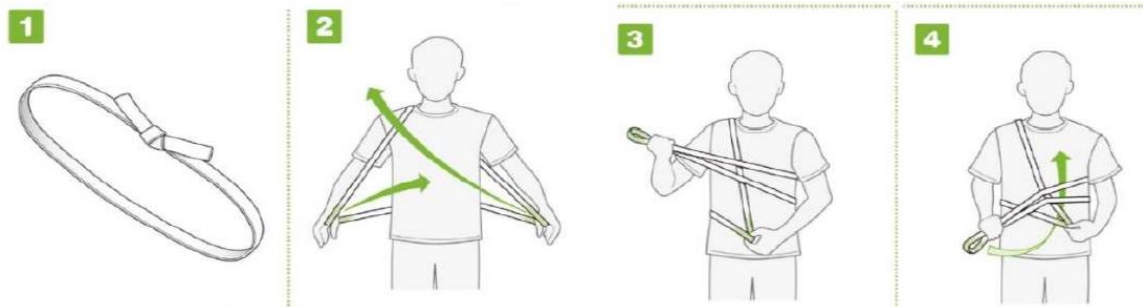
準備 簡易ハーネスの装着

120cm スリングを利用して簡易ハーネスを作成する。

<装着の例>

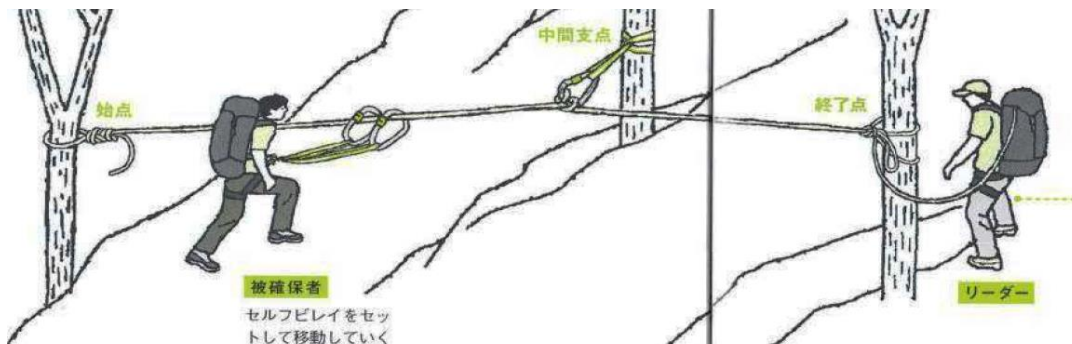
スリングの結び目は背中に来るようにする。

スリングの縛り方は数種類あるが、弛まない事、結び目が動かない事を必ず確認。



1. トラバースの為のロープ設置

斜面で木を支点にしてトラバース用ロープを設置（中間支点を1箇所設置する）。

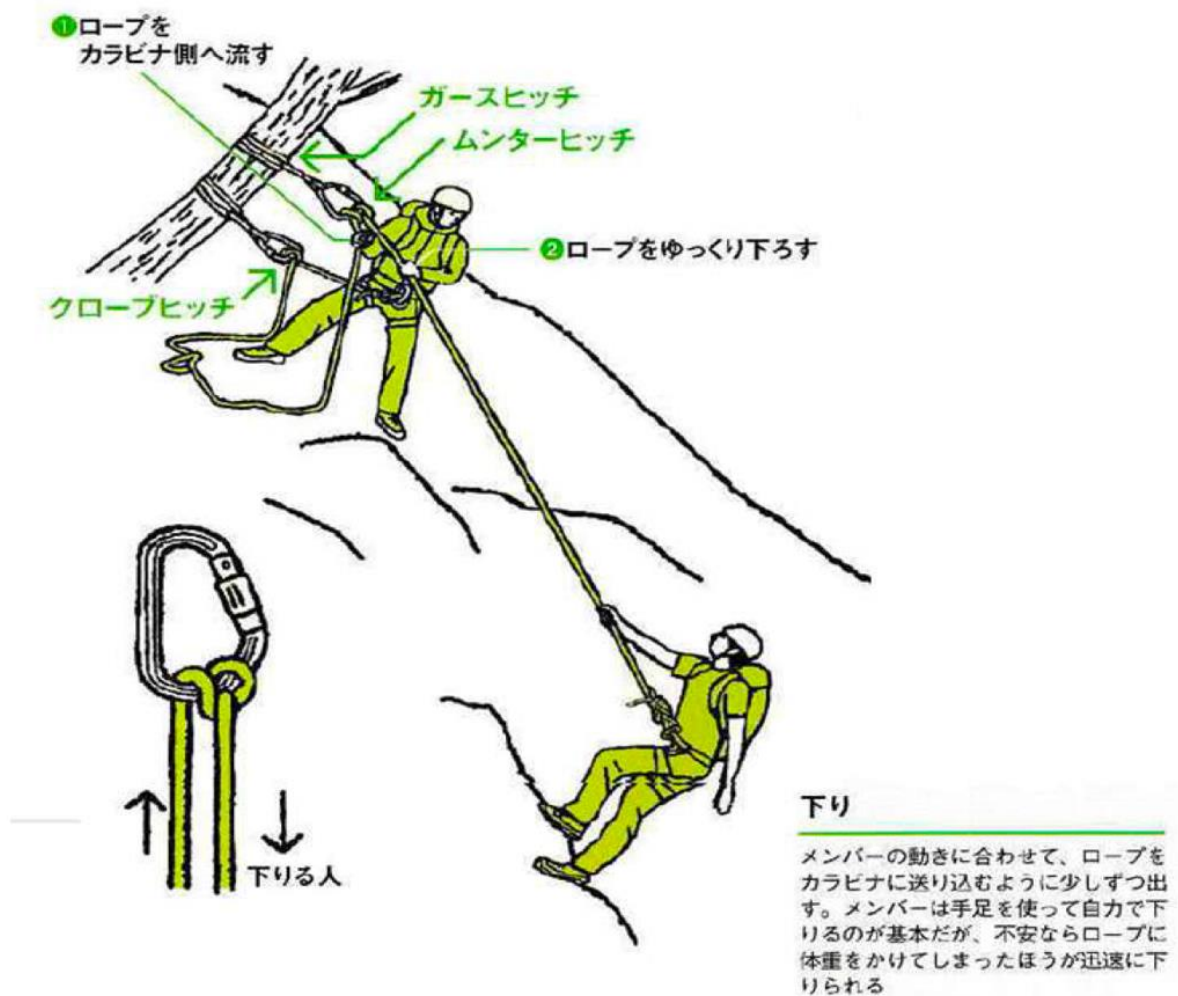


始点と終点は、もやい結びで、末端処理はダブルフィッシャーマン。

中間支点は、スリングをガースヒッチで巻き付けカラビナを付けて、クローブヒッチでロープを固定する。

2. ロワーダウンの為の支点作成と確保

- ①確保者のハーネスにロープをエイトノットで取り付ける。
- ②支点になる木にスリングを巻き、カラビナを取り付けてクローブヒッチでセルフビレイを取る。
- ③支点になる木にスリングを巻き付け（ガースヒッチ）カラビナを取り付ける。
- ④確保されるメンバーのハーネスにロープを取り付け、支点のカラビナにムンターヒッチでロープを通す。
- ⑤ムンターヒッチで制動をかけながらメンバーを降ろす。



<注意点>

- ① 被確保者も必ずセルフビレイを取り、降下の準備が整った後、セルフビレイを外す。
- ② 簡易ハーネスの場合、懸垂下降になると痛いので、ロープは補助と考えたほうが良い。

3. ロープ回収の為のダブルロープによる懸垂下降

- ①セルフビレイを取った後、下降準備を行う。
- ②ロープの中間を支点になる木に掛け、末端をエイトノットで縛る。
- ③ロープを纏め、声を掛けてから下降地点に投下する。
- ④ハーネスにカラビナを取り付けムンターヒッチでロープを取り付ける。
- ⑤セルフビレイを解除し、制動をかけながら降下する。

斜面に対して垂直に立ちロープにテンションを掛けながら降下する。

- ⑥降下終了後、安全な場所まで移動し、ロープを外し、片方のロープを引き回収する。 (イラスト・写真が無くてすいません)

(補足) ムンターヒッチは HMS 型のカラビナを使用する。

支点構築等の作業に入る前に必ずセルフビレイを取る。

<感想>

土田：

千葉県労山の登山講習は、次のようなことが挙げられ非常に有意義な講習でした。

- ①少人数で、講師 1 人に生徒 2 人前後で行われたこと。
- ②10 日前にテキストが送られて、事前学習をすることができたこと。
- ③適度な急斜面での実地で、時間をかけて行われたこと。

私達の班は講師 1 人に生徒 2 人であったため質問も気軽にでき、時間も十分取ることができました。

エイトノット、もやい結び、ムンターヒッチと次々にロープの結び方が示され、具体的にやって見せ、やらされる。直ぐに気をつける箇所の指摘と続けました。ロープで降りる時と登る時のカラビナに通すロープの通し方を間違えると動けなくなるなど、頭が一杯になって益々ロープが結べません。

一度参加したくらいでは、実際には活用は無理そうです。

他の参加者はほとんど 2、3 回目という。初めては私ぐらいのようでした。

できる事なら、今回の学習を復習しながら来年もう一度参加させて頂きたいと強く思いました。楽しい 1 日でした。参加させていただきありがとうございました。

細谷：

今年度の講習は人数が少なく、講師に直接質問する時間が取れ、知識・技術の向上に繋がったと思う。

以前から知りたかった「トラバース時のフィックスロープ設置方法」を指導して頂いた事は良かった。

今回の講習は、「スリングの簡易ハーネス」を使用しましたが、懸垂下降時にかなり痛いです。簡易ハーネスは、緊急事の対応にし、危険箇所の通過が予めわかる場合、しっかりとしたハーネスを装着した方が良いと思いました。

以上

「ウィークデー山行」の下見に行きました

(本番は中止になりましたが・・・)

ハイキング委員会 羽鳥健一郎 (東葛山の会)

- ◆日 時： 6月7日(水) 晴れ
- ◆コ ー ス： 首都圏自然歩道 (千葉県 No. 17) JR 浪花駅～JR 御宿駅
約 10km のコースに「瓢箪堰から小浦海岸」の尾根道を追加
- ◆歩行時間： 4 時間 20 分(休憩含む) ◆参加者： 田中、羽鳥

「日程が空いてたら下見に行きませんか？」

6日に田中ハイキング委員長からメールがありました。13日の本番まであと1週間。7日は雨が上がり晴れの予報。急遽二人で行くことが決まりました。

千葉 7:10 発の電車に乗り浪花駅に 8:24 着。改札口で田中さんと合流しました。近くのコンビニで弁当や水などを買い、計画通りのコースを進みました。

岩船地蔵からの眺めは何回か見ていますが今回も素晴らしかった。「日本三大地蔵尊」とのこと。太平洋も穏やかで波静かでした。

「どこから来たの？」地元のオジサンから声を掛けられました。そして暫く雑談をしながら三人で進みました。オジサンのお勧めは「釣師海岸^{つるしかいがん}」からの眺めでした。

「外房随一の眺望」と看板には書いてありました。



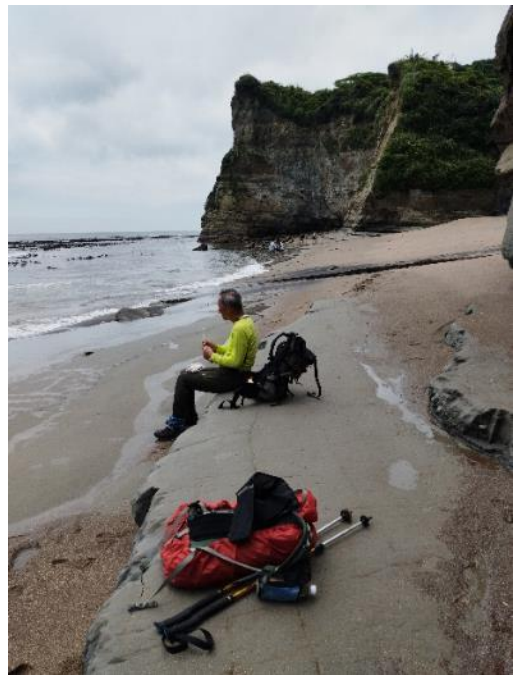
その後、二人は瓢箪堰^{ひょうたんせき}から尾根道に入りました。田中さんによれば、昔からの道で御宿町のトレランのコースにもなっているとか。

今回のウィークデー山行の中で唯一の山道です。昔ながらの尾根道歩きはアスファルトより楽しいですね。一か所、急な下りと登りがあります。数年前に田中さんが付けてくれたトラロープが有難いです。尾根道には色々な木が伸びており顔に当たる枝が出てきます。田中さんはその度に持参のノコギリで処理し道の整備をやりながらの下見でした。前回はゴミを拾いながらでしたが、今回はゴミはあまり見当たりません。

11 時には小浦海岸に到着。ここでゆっくりと昼食となりました。

「今まで来た中で一番良い。天気も景色も海も穏やか・・・」何回も足を運んでいる田中さんの言葉が印象的でした。

昼食を済ませ海岸から道路に戻り一路、メキシコ記念塔を目指しました。記念塔で小休止し岩和田海岸に下りました。月の沙漠を見ながら御宿駅に到着したのが 12 時 50 分。早かったです。13 時 8 分の電車に乗り帰路につきました。大人数だとあと 1 時間か 1 時間半は余計にかかると思いました。

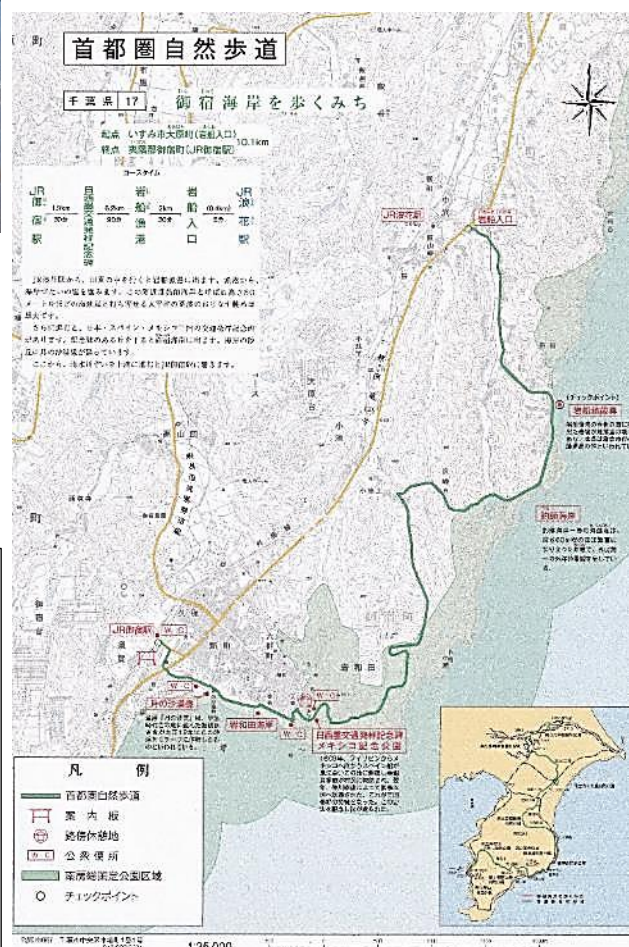


(小浦海岸は引き潮で広々としてました)

台風接近で 13 日の本番は雨模様。開催は中止となりましたが 30 名を超える参加予定が委員長に届いていました。

各会で行かれても良いコースと思います。

ハイキング委員会で下見を重ね、万全の準備をしていましたが、台風の接近と梅雨前線の影響で天気予報が思わしくなく、止む無く中止となりました。素晴らしいコースのようです。是非、各会で歩かれてみてはいかがでしょうか？下見をしていただきました委員の皆さん、ご苦労様でした。(編集子)



全国組織担当者会議 参加報告

2023年6月20日 千葉県連理事長 野田久生
全国連主催の表記会議に参加しましたので報告します。全国の連盟より多数の組織担当者の参加があり、組織問題について活発な意見交換があり有意義な会議でした。



日 程：2023年6月10日（土）13:00 ～ 11日（日）12:00

場 所：福岡県福岡県立社会教育総合センター

参 加 者：各都道府県連盟（21連盟）30人、全国連盟 役員 10人 計 40人

開催主幹：福岡県連



会議場 少し古いが立派な施設でした



討議会場

会議内容要点説明

1. 特別講演 川嶋高志 JWAF 理事長

登山文化の継承・発展が重要。今後期待する二つの制度の説明を行う。

1) ココヘリについて

山岳救助にはココヘリが有効、ぜひ労山会員にもココヘリの利用をすすめる。

遭難事故一報 ⇒ 救助隊ヘリ出動 ⇒ 捜索・発見 ⇒ 救助

2) コンパスの活用を進める

登山者の全数を把握（一般登山者含めて）するにも有効。

労山会員にも活用を提案する。コンパスに会独自の計画書を取り込むこともできる？これを提出しておけば全国どこの地区に於いても登山届を出したことになる。（現在では未加盟の地方自治体もある）未組織登山者へも広げていきたいと考えている。スマホで容易に提出できる。

⇒ 千葉県はこれに対応していない

会作成の登山届（電子データ）がコンパスに取り込めるか不明

2. 基調報告 久保典子 全国連盟組織部長

本会議は規約3条2項の「広範な登山愛好者の組織化」に基づき、全国各地地方連盟で取り組まれている経験を交流し、組織拡大における特有の悩みや課題などを率直に語り合い、全国の仲間が情報交換できることを目的としている。
全国労山の現状を打開し「国民の登山要求にこたえる活動」の運動を前進させるために討議する会議

3. 地方連盟からの報告・意見交換 主な内容

- 1) コロナの影響により会員数減少あり。今後の会員増に期待したい。
- 2) 会員拡大には、HP、SNS、Facebook 等ネットでの情報発信が有効。
- 3) 連盟、会の役員の成り手がいない。高齢化の影響か。
⇒ 制度として設けている連盟（会）もある。
- 4) 一般向けの登山学校、講習会はニーズが高く申込者が多い。
⇒ これにより会員増加になっている。
- 5) 地域の新聞など、地域との連携が重要
- 6) 高齢化問題、避けては通れないが・・・。
- 7) 労山に加盟する意義、メリットが問われている。同好会は多くある。
⇒ 会員への労山の理念の説明、啓発ができない。社会的認知が必要では…。
- 8) 労山ブランド「権利としての登山」 これに磨きをかけ発展が必要。

4. 参加しての個人的な感想

- 1) 各地方連盟から活発な報告、意見交換が行われたことは有意義であった。
- 2) 関東圏、大阪圏など規模の大きな連盟と、地方連盟では活動内容、問題、対策などが異なり、一概に議論するには無理がありそう。
- 3) 労山の意義など精神論は、理屈としては理解できるが会員のニーズとは合致していないように感じる。
- 4) どの連盟も「登山を楽しむ」という趣旨の発言があったのは良かった。
魅力ある連盟を目指しましょう。

以上



簡素な宿泊室 4人
自分でベットメイキング



施設での朝のつどい
宿泊者参加 旗の掲揚



福岡空港
割安便を利用したの参加

四阿山（2345m）～根子岳（2207m）

岳人あびこ 矢野朝水

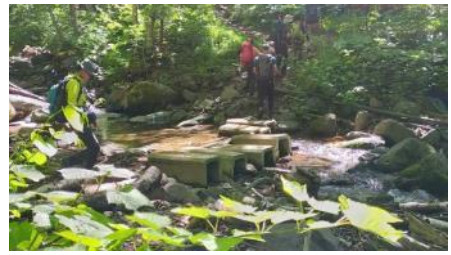
2023年6月17日（土）、我孫子 5:42、上野 6:15/6:34 はくたか 551 号乗車、7:50 上田着。3 台のタクシーに分乗、8:45 菅平牧場着。久方ぶりの梅雨晴れ間。清々しい。遠くアルプスの雪嶺を望む。所々にレンゲツツジを見る。菅平牧場つつじ祭りの最中とか。

8:55 A 班（北田、外崎、村越、渡邊、矢野朝）を先頭に 3 班に分かれ四阿山に向けて出発。牧場には牛が寝そべりのどかな風景だ。

北アルプス仰ぐ高原清々し

空の青山の蒼（あお）さよ梅雨晴間

悠然と草食む牛や牧の夏



山に入ると若葉の森。せせらぎ、春セミ、ウグイスの声。所々にレンゲツツジを見る。

10:20 小四阿（1918m）到着。四阿山、根子岳、遠くアルプスの雪嶺を望む。

やはらかな瀬音にまじる蟬の声
蒼天に光る雪嶺北アルプス

ここかしこ蓮華つつじの燃えてをり



白樺の若葉が輝く森を抜ける。登山道にイワカガミの群落やハクサンチドリを見る。可憐な小さな花の名はわからない。小野博士がいると教えてもらえるのだが…。夏蝶が付かず離れず付いてくる。

白樺の若葉きらめく日の光
名も知らぬ何故か魅かるる夏の花
登山道（みち）行けば付かず離れず夏の蝶

下闇の淋しき花よイワカガミ



四阿山を望む山道のケルンに小石を積む。11:20 中四阿（2105m）到着。少し下った所で A 班は昼食。目の前に四阿山が聳え、谷間から吹き上げる風が涼しい。

四阿山仰ぐケルンに小石積む

涼しさや寄せ来る風の谷深し



12:40 C 班が待つ四阿山頂上手前の小さな祠に到着。B 班の到着を待ち、12:54 四阿山（2354m）山頂到着。山頂には孀恋村の木柱が建つ。祠に山の安全を祈る。360 度山々を遠望する。浅間山が聳え、眼下には信濃の緑の絨毯が広がる。山頂の木々は芽吹き始めたばかり。アゲハ蝶がどこからか飛んできた。どこへ行くのだろう。全員で記念写真を撮る。

薫風やぐるり取り巻く山の波
緑濃き山野広がる信濃かな
山頂や里に遅れの木々芽ぐむ

セピア色に染まる浅間や夏の雲
頂上や風に吹かるる揚羽蝶
安全を祈る山頂走り梅雨



14:15 下山開始。木々が茂り薄暗い急な坂を下る。ウグイスの声が鳴きやまない。大スキマに下りると眼前に根子岳が聳える。根子岳は一面ササに覆われており、ササの茂る登山道を登る。歳のせい、日頃の鍛錬不足のせい、今日の山行は思っていたよりきつい。巨岩のそそり立つ山道を抜け、15:05 根子岳(2207m) 到着。360 度山頂からの眺めも素晴らしいが、午後 3 時ともなると遠くの山々は霞む。山頂の祠にお参りし、鐘を鳴らす。記念写真を撮る。

黒き森夏うぐいすの声止まず
鐘の音の響く山頂風薫る

一步一步目指す山頂汗にじむ
山頂をかこむ遠嶺や霞立つ



15:25 下山開始。大きな石がゴロゴロ転がる登山道をひたすら下りる。アカヤシオ(?)を見る。やがて白樺の若葉の森にレンゲツツジが見えてくる。牧場の近くになるにつれレンゲツツジの群落があちこちに。山裾が燃え立つようだ。

炎のごと燃えたつ蓮華つつじかな

朱に染まる蓮華つつじの山仰ぐ



16:50 菅平牧場に到着。17:10 タクシー3 台に分乗して上田駅へ。

17:55 上田駅到着。駅にて解散。

有志で駅前の蕎麦屋にてビールで乾杯。名物のくるみ蕎麦を食べる。

19:03 新幹線に乗車。上野を経て 9:14 我孫子着。

山行の無事を祝してビールかな

かなり厳しい山行だったが、炎のようなレンゲツツジの群落に会えてよかった。レンゲツツジの満開の時期に山行を計画していただいた北田リーダーに感謝です。

燃え盛る蓮華つつじや四阿山

2023 年度 全国自然保護担当者会議 報告

自然保護委員長 菅井 修（ちば山の会）

開催場所：長瀬 長瀬荘

会場参加者： 33 名、 Zoom 参加者： 13 名

千葉県からの参加者： 菅井、山本(久)、 安彦 (Zoom)

1 日目:6 月 17 日(土)

- ・ 13:00 開会挨拶 主 幹： 瀬下啓司 氏(自然保護委員、埼玉県連理事長)

主催者： 山本尚徳 氏(全国自然保護委員長)

- ・ 13:10～記念講演 森 孝順 氏

(元環境省山岳レンジャー、山はみんなの宝クラブ副代表)

テーマ：「地球温暖化による予想以上に進む山岳環境の変化を考える」

- ・ 低山での遭難が多い。道迷い等 自己責任論 ヘリ利用の有料化など
- ・ トイレ問題 使用した紙の持ち帰り
- ・ 野生動物との問題
- ・ 鹿の食害
- ・ 外来植物 など

多岐にわたり今急速に変貌している状況について講演された。

- ・ 14:25～基調報告 浦添 会長

1. 自然保護委員会の昨年の取り組みと今後の方針

2. 地球温暖化で山岳地帯に何が起きているか

高山植物への影響 日本では絶滅の危機 永久凍土の誘拐によるメタン

3. 地球温暖化ガス排出の原因と対策

火力発電 車社会 戦争 脱 CO₂ が大問題

日本政府の方針の誤り アンモニア混合や CO₂ では間に合わない

風力発電や太陽光発電は必要だが、貴重な山岳自然を壊さないこと

「ソーラーシェアリング」の紹介

- ・ 15 時 05 分～地方連盟からの報告

宮城県 クリーンハイク 交流登山 石巻緑のハイキングロード整備

みちのく潮風トレイル 鹿の食害対策

千葉県 磯根海岸クリーンハイク

埼玉県 クリーンハイク 足尾、埼玉県内の植樹 メガソーラー

長野県 自然保護観察会 湯俣付近 伊藤新道

徳島県 大規模風力発電 鹿の食害

滋賀県 3つの風力発電計画

静岡県 リニア新幹線問題

3～4mm/年隆起する複雑な地質構造

多様な動植物と水の関係 大井川の水利用と歴史

2日目:6月18日(日)

・8時30分～地方連盟からの報告

京都府 北陸新幹線延長計画の現状

丹後大型風力発電

大峰山系の立ち枯れ

奈良県 クリーンハイク 山のトイレ 使用後の神の持ち帰り運動

外来植物 ジギタリス

大阪府 大峰山 立ち枯れ調査

鹿の食害 原油製錬時の有害排出ガスの影響

神奈川県 丹沢クリーンハイク

栃木県 横根山高原風力発電

福島県 原発事故の現在に影響(誌上)

・10:30～ 取りまとめ(山本委員長)

各地方連盟での「問題や課題への取り組み」など大変興味深かった。
千葉県からのクリーンハイク報告は、「今までに無いもの…」として大変興味を持ってもらいました。

会議終了後、大変暑い日でしたが有志で谷筋より宝登山に登り親睦を深めました。

『全国自然保護担当者会議in長瀬』にZoom参加して感じたこと

安彦秀夫(東葛山の会)

『1日目は13:00～17:30、2日目は8:30～10:35』の2日間、パソコンで参加しました。

事前に予稿集が届いていたので目を通しておいたのですが、肝心の『記念講演(講師:森孝順氏)』は、予稿集には掲載されていない資料をプロジェクターでスクリーンに投影しながら講演を行っていたようで、Zoom参加者にとっては、画面共有されていないことに加えて、マイクの音声が聞きづらく、何をどのように話しているのか…が全く分かりませんでした。

Zoomのチャット機能を駆使し、改善をお願いした結果、後半に、講師のパソコン画面を映し出してくれたので、不鮮明ではあったものの画面を見ながら聴くことができました。また、各地方連盟からの報告は、画面共有が不十分でしたが、予稿集を参照しながら聴くことができました。

Zoom参加を今後も採用すると思いますので、もう少し事前準備を丁寧に行い、参加者が気持ちよく会議に参加できるように工夫してほしい…と思いました。

各地方連盟からの報告は、多岐にわたるもので、その地方にとっては切実な課題とは思いますが、全国から参加するのですから、共通のテーマに絞って報告をして欲しかったです。

予稿集の編集に間に合わなかった各地方連盟からの報告は、直前にメール配信されましたが、原稿締切を厳守するように心がけてほしいです。また、報告(発表)する際は、だらだら説明するのではなく、要点を絞ってハッキリ話してほしいです。

自戒を込めて敢えて苦言を書きました。千葉県連でも見習うべき点は見習いたいと思います。

全国自然保護担当者会議に参加して

かがりび山の会 山本久美子

6月17～18日、全国自然保護担当者会議に参加しました。

コロナ禍で3年振りに日本の地質学発祥の地「長瀬」で開催されました。

会場33名、Zoom13名の総計46名の参加者、元環境省山岳レンジャーで講師の森孝順氏による「地球温暖化による予想以上に進む山岳環境の変化を考える」を聴講しました。予想以上の加速で変貌する山岳環境の現状を学び、保全や次世代へ継承の意識改革の必要を感じました。

各地方連盟が抱える問題提起や実績報告など、異なる地域の課題も興味深かったです。



会議終了後は、主管の埼玉県連のエリアである人気の山「宝登山」へ。

長瀬第一小学校前→氷池分岐→小鳥峠→宝登山→宝登山神社のコースで「交流山行」が実施されました。

真夏のような暑さの低山登山でしたが、樹林帯の多いコースを歩き、遠方からの参加者には好評で話題も広がりました。



海外登山参加者募集

①エベレスト街道トレッキング と ②5,000 峰 2 座登頂

2 コース 一緒に成田を出発！

未だ間に合うかも…
日程などの詳細は、『2023 ちばニュース 5 月号』を参照してください。

募集人数：最大 20 名

申込締切(一次集約)は、『6 月 30 日(金)』ですが、
今すぐ、問合せ・申込先に連絡をしてみてください。

<参加申込状況>

① エベレスト街道トレッキング(11 日間)コース

7 名 (2 会) (男性 3 名、女性 4 名)

② 5000m 峰 2 座登頂(20 日間)コース

7 名 (5 会) (男性 5 名、女性 2 名)

参加者説明会開催(Zoom)

7 月 6 日(木) 午後 7 時～9 時

世界最高峰『エベレスト 8,848m』を千葉県連の仲間と一緒に自分の目で見てみよう…
という思い(願い)で、2つのコースを企画しました。

①エベレスト街道トレッキングとクンデピーク 4,200m 登頂

2023 年 10 月 25 日(水)～11 月 4 日(土)<11 日間> 約 45 万円

4 日目の高度順応日または 5 日目のトレッキング予備日に、
ナムチェバザール周辺随一の展望台クンデピーク 4,200m より大展望を満喫！

②エベレスト街道トレッキングと 5,000m 峰 2 座登頂

2023 年 10 月 25 日(木)～11 月 13 日(月)<20 日間> 約 68 万円

カラパタール 5,560m と ゴーキョピーク 5,360m に登頂し、

世界最高峰エベレスト 8,848m の左肩からのご来光を堪能！

(山の標高は資料によって異なります)

問合せ・申込先：海外委員会 安彦秀夫 (あびこひでお)

mt25hm4abichan49@gmail.com 090-5827-0571

☞ 『参加申込書』は、各会代表者と理事の皆さんに配信済みです。

手元がない場合は、上記問合せ先までメールにて連絡をお願いします。

☞ 『労山基金』は、コースやヘリコプターの利用を考慮した場合、『5 口』以上の加入をお勧めします。(参加申込書には 3 口以上と記載していますが…)

月刊機関紙『ちばニュース』編集に携わって思うこと

機関紙委員会 委員 安彦秀夫（東葛山の会）

昨年 2022 年秋に突然、千葉県連の月刊機関誌『ちばニュース』の編集に携わるようになりました。数ヶ月後、『機関紙委員会』の委員になり、今日に至っています。

それまでは、毎月定期的にメール配信されてきていることが当たり前で、それを機械的に会員に配信していました。

ところが、実際に編集に携わってみて、『編集作業』の大変さを知ることになりました。その最大の理由（背景）は、私のパソコンスキルの未熟さによるものですが…。パソコンに精通している人にとっては、なんて事のないことだ…と思います。

まず、パソコンスキルが乏しい為、皆さんから投稿いただいた原稿の編集で四苦八苦しています。具体的には、私なりのイメージで編集をしたいのですが、どのような操作をすればよいのか…が分からないため、あーでもないこーでもない…と試行錯誤を繰り返すこととなります。それも同じことを何度もです。やっぱりできないなあ…と思いつめることもしばしばです。それでも、イメージした通りに編集ができた時は、「やったあー！」と一人で満足感・達成感に浸ったりしています。

このように必要に迫られてパソコンに対峙しているのも、パソコンスキルも徐々にではありますがアップしてきているのでは…と思っています（思いたいです）。

私としては、もう少しスマートな編集作業をしたい…と望んでいるのですが、そこまで上達することは高望み過ぎるのかな…と自分に言い聞かせています。でも、やるからにはイメージ通りの編集をしたいですね。

多くの投稿をお待ちしています！

私のパソコンスキルの上達の一助（教材）となるように、多くの皆さんからの多種多様な投稿をお待ちしています。毎月 20 日頃を目処にお送りください。(2023/6/28/Wed.)

<閑話休題> Zoom との劇的な出会い

コロナ禍になり、それまでは考えもしなかったことが、今の私の生活の一部になっています。

それは『Zoom』です。若い現役の人の世界と思っていたことを 70 歳超で経験するとは…。

コロナ感染者数が激増し、東葛山の会の例会などで利用していた施設が利用できなくなり、その対応（対策）として『Zoom 利用』の話が上がり、実際に取り組んだのが、2 年半前の 2021 年 1 月でした。会員中の経験者を講師に、ぶっつけ本番で Zoom ミーティングを開催しました。2 度ほど参加した後、ホストになる方法も教わり、まずは家族内で練習をし、その後、東葛山の会会員を相手に練習を繰り返しました。

その後、千葉県連でも Zoom 利用の話があり、その年の 4 月に有料契約をし、今日に至っています。

この間、千葉県連の『役員会』や『理事会』を始め、『定期総会』、『会代表者・理事・役員合同会議』、『各専門委員会』、『オンライン講座（講習会・講演会）』、『講座の打合せ』などを Zoom で開催しています。

また、『労山全国連盟』や『房総の山復興プロジェクト』などの説明会・会議にも Zoom で参加しています。

家に居ながらパソコンに配信される URL をクリックするだけで参加できます。是非、多くの皆さんが、この文明の利器の恩恵を享受できるようにサポートをしたいと思います。

「Zoom って難しそう…」と思っている方、そして、関心のある方からの連絡をお待ちしています

世界が広がること間違いなしです。(連絡先: 安彦秀夫: mt25hm4abichan49@gmail.com)

2023 オンライン講座開催案内

『2023 ちばニュース 6 月号』掲載と

日程(順序)が変更になっています！

第 2 回：現場から学ぶ高山病の予防と対応

日時： 7 月 27 日(木) 19:00～21:00

講師：中山 岳史 氏（株式会社ワンダーズアドベンチャー 代表）

- ・高山病の概要
- ・高山病の 5 つの予防策
- ・高山病発症時の診断と対応
- ・質疑応答

受講料無料

講師の中山氏は、多くのハイカー、特に私達と同年代のお客様などもエベレスト街道などに案内しています。そこで得たノウハウを交えて、高山病などの不安を抱えている人に予防策や発症時の診断・対応などを分かり易く説明していただきます。

今回のツアー参加希望者を始め、ネパールトレッキングや高所登山に関心のある方にとって、役立つ盛り沢山の内容です。多くの会員の参加をお待ちしています。

問合せ・申込先：オンライン講座実行委員会 安彦秀夫
mt25hm4abichan49@gmail.com 090-5827-0571

申込期限：7 月 20 日(木)

☞ 7 月初めに、各会代表者、理事、役員に『参加申込書』を配信します。必要事項を記入し、参加者が、直接、上記申込先にメールにて申込みをお願いします。

<今後の予定>

第 3 回：ココヘリ説明

日時：8 月 24 日(木)19:00～21:00

講師：大峰菜奈子 氏（AUTHENTIC JAPAN 株式会社 ココヘリ事務局）

（昨年の内容に加えて、新たなサービスなどの紹介もしていただく予定です。）

第 4 回：労山基金の基本的な考え方

日時：9 月 28 日(木)19:00～21:00

（注）講師の都合で、第 4 回は中止になりました。

講師：鶴田 秀雄 氏（ちば山の会会員、県連副理事長、全国労山基金運営委員）

内容：補償対象山行・イベント、補償内容、選択肢、補償対象必要条件

他の山岳保険との比較、交付申請に関する若干の統計データなど

第 1 回の 6 月 22 日(木)には、26 名(11 会)の参加がありました。ありがとうございました。
テキストや資料、Q&A、受講感想などは、近日中に県連ホームページに掲載予定です。

県連活動予定表

7月			8月		
	曜日	県連活動予定		曜日	県連活動予定
1	土		1	火	
2	日		2	水	
3	月		3	木	臨時役員会（ZOOM）13:00
4	火		4	金	
5	水	全国労山基金オンライン説明会19:00	5	土	
6	木	初°-ルトレヱヱヱ参加者説明会Zoom19:00	6	日	
7	金		7	月	
8	土	8〜9：全国救助技術交流集会	8	火	立秋
9	日	クライミング講習（入門編）③	9	水	
10	月		10	木	
11	火		11	金	山の日
12	水		12	土	
13	木	役員会（ZOOM）13:00	13	日	
14	金		14	月	
15	土		15	火	
16	日		16	水	8月理事会は休会です！
17	月	海の日	17	木	
18	火		18	金	
19	水		19	土	
20	木	理事会 19:00	20	日	
21	金		21	月	
22	土		22	火	
23	日	大暑	23	水	処暑
24	月	教育遭難対策委員会（ZOOM）	24	木	2023オンライン講座③19:00
25	火		25	金	
26	水		26	土	
27	木	2023オンライン講座②19:00	27	日	
28	金		28	月	教育遭難対策委員会（ZOOM）
29	土		29	火	
30	日		30	水	
31	月		31	木	

事故発生時の連絡先

各委員会、25日までに予定を連絡ください。

◎事故一報は事故発生後1ヶ月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

県連教育遭難委員会

メール： jwaf@jwaf.jp

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

ファクス： 03-3235-4324

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所に常駐者はいません